

回折構造生物第169委員会入会案内資料まとめ (H240108改訂)

- 設立趣意書概要： X線、中性子線、電子線の回折現象を利用し、生物を分子構造に立脚して研究する。研究活動は大量発現、大量培養、結晶化、構造解析、線源や測定装置等の開発及び得られた3次元構造の利用技術など広範に及ぶ。この趣旨に従い、上記線源及び装置を利用した構造解析等に関する技術を総合的に研究し、得られた3次元構造情報を利用して、創薬、医療、農業、工業、環境保全等の分野に有用なデータベースの構築、3次元グラフィックスによる幅広い利用技術開発等を行う。
詳細は資料：[設立趣意書](#)及び委員会の目的を参照
- 組 織： 委員長1名、副委員長1名、顧問若干名、幹事若干名、運営委員若干名、総会が最高決定権を持つ、詳細は資料：[運営内規](#)参照
産業界、学界が協力し、産業界の要求を出来る限り取り入れる方向で運営されている。
- 活 動： 1) 研究会を年3～4回開催する。
2) 本委員会が主催する、回折構造生物国際シンポジウム(ISDSB)を数年毎に開催
第一回2003年つくば、第2回2007年東京出開催、第3回は2010年5月パリで開催、第4回は2013～2014に日本で開催予定。
3) 研究成果を書籍として発刊する(タンパク質の結晶化 京大出版、2005年)
4) 年3～4回 News Letter を発行する
5) その他、各種援助(各種ルールを参照)を行う
- 各種ルール： 1) [学界関連委員継続及び新規加入ルール](#)
学界委員数が産業界委員数を2割以上上回らないようにするためのルール、例えば学界委員を加えるためには新規加入産業界委員とだきあわせが必要など、詳細は資料参照
2) [海外派遣ルール](#)
学界委員、産業界委員の区別無く、委員本人或いは委員が推薦する事により海外渡航旅費を1人当たり最高25万円援助する。詳細は資料参照
3) [若手研究者旅費援助ルール](#)
学界委員、産業界委員の区別無く、委員が推薦することにより若手研究者を本委員会の研究会に出席するための旅費を援助する。詳細は資料参照
4) [年次会費に関する期限付きルール その1及びその2](#)
その1：入会初年度と次年度の年次会費を20万円に減免する。詳細は資料参照
その2：大震災により不振に陥った際の年次会費15万円。詳細は資料参照
- その他の資料： 1) 入会申込書 ([産業用](#)、[学界用](#))
2) [入会時期による初年度の割引に付いて](#)
3) [第2期設置継続申請書](#)、[第3期設置継続申請書](#)
4) [第1期研究発表一覧](#)、[第2期研究発表一覧](#)
5) 第169委員会のホームページ (HP) <http://www.sbsp.jp/sbdt/> をご覧下さい。
現在の会員名簿等もここに載っています。